

千葉地方本部 第75回定期地方大会開催される

■大会は昨年に続き、短時間開催

10月16日(土)に千葉地本第75回定期地方大会が千葉県教育会館に於いて10時30分、安田副委員長の開会挨拶で始まり、昨年同様コロナ禍という状況下、短時間での開催とし、来賓・傍聴者の参加の要請はしませんでした。34団体の多くのメッセージが届き、掲示板一杯に張られました。

大会議長には千葉建築分会の森田代議員が選出され議事進行。大会を代表し、井村執行委員長の挨拶。続いて東日本本部からは、中村副委員長が見えられ挨拶しました。

討論では寺林分会長が新保分会代議員として参加し、宿直体制に伴う拠点対応の問題やエルダー出向の実態を発言しました。

新運動方針と予算さらに新役員体制が確立され、最後は加藤新執行委員長の団結ガンバローで13時30分に閉会となりました。



執行委員長	加藤 晃一
執行副委員長	越川 幸夫
書記長	北嶋 利則
執行委員長	嶋田 福実
執行委員長	高橋 弘幸
執行委員長	佐川 正則
執行委員長	北村 智之
青年部長	飯田 秀樹
会計監査	鈴木 浩
会計監査	古賀 将也
会計監査	千機 潤
津沼 潤	網成 新保
	新浦 新保
	佐倉 国
	電 気
	電 気

2021年度新役員

社員1名が夜間作業後、宿直者と一緒に朝8時まで拠点対応として勤務に就くことになった。経験した仲間の声を聞いたが「夜業終えての勤務だから眠い」「もし、車の運転やるなら交通事故も懸念される」といった声が上がった。今後も拠点対応の問題があれば、工務協などに上げながら改善に向けていく。

2点目は当分会では組合員18名中17名がエルダー社員であり、ほとんどが出向である。物流サービスに出向している仲間から3月ダイヤ改正で6名の要員から4名となり、業務が多忙となって「年休が取りづらい」という実態である。また、警備会社に出向している仲間からは、今までの保線とかけ離れた業務で鬱になりそうになり病院にいった仲間もいる。さらに、出向会社はJR本体と違い、新型コロナ感染拡大の現状、逆に業務が増す中なのに職域接種もなく、ワクチン接種がすぐに受けられない。出向会社は「JR本体と就業規則が違うから仕方ない」だけで終わらせてはいけない等々、特にエルダー出向問題に対して力強い発言をしました。

■機関紙コンクール「新保ニュース」受賞



地本大会の「機関紙コンクール」で当分会の「新保ニュース」が「優秀賞」に輝きました。ありがとうございます。

この賞をバネにさらに頑張ります！

■寺林分会長が代議員として発言

宿直体制の見直しで西船橋保技セでは新木場と西船橋に拠点対応があるが、10月から新木場が廃止となり、西船橋に集約された。これに伴い、今までのパートナー会社の拠点対応者2名が廃止され、代わりに日曜から金曜にかけてJR



分会主催「BBQ 大会」

- 日 時: 12月4日(土) 11:00~
- 場 所: ペリエ千葉5階えきうえ広場 BBQ ビアガーデン (予定) ぜひ参加してください。

